

科目名		保健体育V (Health & Physical Education V)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	制御情報工学科	履修	1単位	必修	実技	前期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】中村 貢治							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	1. グループ毎に準備・活動・後片付けまでを責任を持って行うことができる。 2. 適度な運動量を確保し、安全に留意しながらスポーツを楽しむことができる。 3. 参加人数に合わせて、種目のルールを柔軟に変更することができる。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	保健体育 I								
教科書	「最新高等保健体育」(大修館書店)								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
			20					80	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】			○						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能 【コミュニケーションスキル】								○	
態度・志向性(人間力) 【主体性、チームワーク力、リーダーシップ】								◎	
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>授業は運動に適した服を着用すること。グラウンドでの授業は屋外用の運動靴を、体育館では体育館シューズを用意する。運動着および運動靴を忘れた場合、または運動に適さない服装や靴で授業に参加した場合は見学扱いとする。成績は、①授業への積極的な参加、取り組み姿勢と②運動技術、スポーツテストから評価する。それぞれの割合は、①80%、②20%とする。欠席、遅刻、早退、見学は減点する。</p>									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1. オリエンテーション	・今年度の授業概要を把握し、到達目標を理解できる。	
2	2. 種目選択制 ・高学年(4、5年生)の授業では、種目選択制を導入する。選択できるスポーツ種目は、サッカー(10名以上)、ソフトボール(18名以上)、バスケットボール(10名以上)、バレーボール(8名以上)、バドミントン(4名以上)、卓球(4名以上)、テニス(4名以上)などである。	・グループ毎に準備・活動・後片付けまでを責任を持って行うことができる。 ・適度な運動量を確保し、安全に留意しながらスポーツを楽しむことができる。 ・参加人数に合わせて、種目のルールを柔軟に変更することができる。	授業での身体活動に不備がないよう、各自が体調を整えたうえで授業に臨むこと。
3			
4			
5			
6	・上記の種目を実施するには、種目ごとに設定している指定人数を満たすことが必要である(カッコ内の人数)。希望種目の指定人数が達しない場合には、他種目を選択する。 ・毎時の授業では、グループワークを基本とする。各種目ごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら練習から試合運営へと発展させる。		
7			
8			
8	中 間 試 験		
9			授業での身体活動に不備がないよう、各自が体調を整えたうえで授業に臨むこと。
10			
11			
12			
13			
14			
	期 末 試 験		
15			授業での身体活動に不備がないよう、各自が体調を整えたうえで授業に臨むこと。
総 授 業 時 間 数			30時間